

【1 コマバージョン】

自分たちの生活が選挙や政治とどう関わっているかを学ぶ。模擬投票では『給食の食べ残しを減らすにはどうすればよいか』に焦点を当て、課題解決方法を候補者の訴えから判断して自分の答えを出してもらおう。テーマを子どもたちの身近にある課題に設定することで、“自分事”として問題を捉え、また問題を解決する能力の育成を目指す。本番の選挙で利用されている機器を使用して投票や開票を体験することにより、選挙を身近に感じてもらい、1票の大切さを感じてもらおう。

■実施例 檀原市立耳成南小学校

日 時	平成30年2月1日（金）14時05分～14時50分（5時間目）
場 所	ふれあい教室
対 象	6学年 95名
主な内容	政治や選挙に関する講義、模擬投票

◎タイムスケジュール

時間	内容	説明
13:35	準備（30分）	
14:05	あいさつ・講座（10分）	児童にとって分かりやすい形で、選挙や政治と自分との関わりについて学ぶ。
14:15	模擬投票（説明・演説） （5分）	『給食の食べ残しを減らすにはどうすればよいか』をテーマに、給食大臣を選ぶ模擬投票を実施。職員2名による演説を聞き、児童自らが考え、答えを出すことを体験する。また、投票の流れを学ぶ。
14:20	模擬投票（投開票） （25分）	本番の選挙で利用されている器具を使用して模擬投票を行い、1票の大切さや、選挙を身近に感じてもらう。
14:45	まとめ（5分）	内容の総括。質疑応答。
14:50	終了・片付け	

